

平成 28 年度水戸市協働事業(2次募集)
の選定に係る審査について

答 申

平成 28 年 6 月 10 日

水戸市協働推進委員会

目 次

平成 28 年度水戸市協働事業(2次募集)の選定に係る審査

審査結果及び全体講評	1
各事業の概要及び委員会意見	2
選考過程・基準	4
委員名簿	5

平成 28 年度水戸市協働事業の選定に係る審査

審査結果及び全体講評

【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

推薦する事業

- 水戸オーガニ蕎麦プロジェクト

推薦しない事業

- 「みどりと野鳥の森」整備事業

【 全体講評 】

平成 28 年度の水戸市協働事業の 2 次募集に対しては、2 件の協働事業が提案され、5 月 24 日に公開プレゼンテーションが実施された。プレゼンテーションは、定められた時間内で提案事業の概要やポイントをわかりやすく伝えることが最も重要である。必ずしも技術的に凝る必要はないが、理解を促すための資料や発表方法について、提案団体には研究をお願いしたい。

「水戸オーガニ蕎麦プロジェクト」は、一般社団法人茨城県健康生きがづくり協議会からの提案で、水戸市内の遊休農地を有効活用し、蕎麦作りを通して多世代で共有する地域社会の実現を目指す興味深い試みであった。

事業の実施にあたっては、提案団体と市の担当課において十分に協議し、補助金の適正な運用及び予算の適切な執行を心掛け、より効率的で透明性のある事業運営に繋げていただきたい。また、市民ニーズの把握に努め、適切に事業に反映させるなど、市民の目線に立った事業運営を進めてほしい。

今回の 2 次募集では、以前に提案したが、実施には至らなかった事業について、委員会からの意見を踏まえ、改善点を盛り込んだ上で再提案された事業もあり、まちづくりに対する意欲的な姿勢が見られた。今後も、様々な分野において、市民活動団体と市が、お互いの特性を生かしながらパートナーとして事業に取り組むことで、相乗効果が生まれ、市民と行政との協働によるまちづくりが更に発展していくことを期待したい。

各事業の概要及び委員会意見

提案事業名	「みどりと野鳥の森」整備事業	推薦しない (203点)
提案団体	特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき	市の担当課 農政課
事業の概要	水戸市栗崎町・百合が丘町・六反田町・大場町にまたがる貴重な平地林（里山）を整備する。整備を進め、緑地環境の保全とともに、子どもたちが楽しく遊ぶことができる賑わいの森を創造し、平地林の中に人間と生物が触れ合える拠点となる自然生態観察公園（アーバンエコロジーパーク）を創造する。	
委員会意見	<p>本事業は、平地林の整備を進めることで、緑地環境の保全とともに人間と生物が触れ合える自然生態観察公園の創造につなげるというものであり、地域の社会的課題を捉えた事業として、ニーズの有効性については高く評価する。</p> <p>提案団体においては、平成 27 年度まで協働事業提案制度を活用し、木戸房池ビオトープ整備事業を実施してきたことから、前回までの提案とは別事業であることを明確化する必要があったのだが、プレゼンテーションや資料からは、前回までの提案との差異を認めることができず、今回は推薦できる基準に届かなかった。</p> <p>自然環境の整備には長い年月がかかり、今後も継続して取り組んでいく必要があることから、今後も市と連携しながら、森林資源の保全に取り組んでいただきたい。</p>	

提案事業名	水戸オーガニ蕎麦プロジェクト	推薦する (235点)
提案団体 一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>水戸市内の遊休農地を活用し、農作業体験等を実施する。農作業体験等を通じ、地域の人々、福島からの避難者、都会の人々など、様々な人が交流することにより、豊かなライフスタイルを築くことができる地域社会を確立する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 蕎麦作り 畑耕起～有機質肥料仕込み～種蒔き～刈取り、収穫祭 2. 蕎麦ちよこ作り 3. 蕎麦打ち体験講座 	
委員会意見	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、蕎麦作りを通して多世代で共有する地域社会の実現を目指す興味深い試みであり、また、都会の人々を呼び込み、水戸市のリピーターとして定着させることや、福島からの避難者の支援など、様々な取組みを計画している。</p> <p>前回の提案で指摘した、事業の対象者の少なさや広報活動については、改善が認められる。本事業を内々のイベントで終わらせることがないよう、市担当課と連携しながら、効果的なPRに努めていただきたい。</p> <p>本事業をきっかけに、地域住民だけでなく、都会の人々や福島からの避難者など、様々な人々が世代を超えて交流することで、地域の活性化につながることを期待する。</p>	

選考過程・基準

【 選考過程 】

協働事業提案書をもとに、5月24日に実施された公開プレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審査において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審査した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むに当たって、提案団体と市の担当課がさらに協議を深めるべき事項について意見した。

【 選考基準 】

提案書類と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点した。各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。

また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる216点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

審査項目及び審査の視点（40点満点）

審査項目	審査の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益，社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し，お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等	組織区分	備考
委員長 金本 節子	茨城大学 名誉教授	学識経験者	
副委員長 水嶋 陽子	常磐大学 人間科学部教授		
大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・ コモンズ事務局長	NPO代表	
平沼 賢治	水戸市ボランティア連絡協議会 会長	ボランティア代表	
金成 滋	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	コミュニティ代表	
鹿倉よし江	水戸女性会議	女性団体代表	
石川 浩之	水戸商工会議所 事務局長	関係団体	
高橋 隆慎	公益社団法人 水戸青年会議所 理事長		
青木 千鶴子		公募市民	
斎藤 寿子			

【任期】

平成27年2月25日から平成29年2月24日まで（2年間）

【参考資料】水戸市協働推進委員会抜粋

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。